

2020年3月16日

受益者の皆様へ

弊社投資信託の基準価額の下落について

平素より弊社投資信託をご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2020年3月13日、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

| ファンド名 | 3月13日の基準価額 | 前営業日比 |
|-------------------|------------|-----------------|
| J A T O P I Xオープン | 10,683 円 | ▲563 円 (▲5.01%) |

○市況動向

3月12日から13日にかけて、当ファンドのベンチマークであるTOPIXは、▲4.98%と大幅に下落しました。これは、ファンドのベンチマークを構成する国内株式市場の下落によるものです。

・TOPIX

3月12日 1,327.88 ポイントから 13日 1,261.70 ポイントと▲4.98%の下落

この背景としましては、

- ① WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスに関してパンデミック（世界的な大流行）となったと宣言するなか、米政権により打ち出された景気対策が市場の期待に沿うものでないと捉えられたこと
 - ② 米政権により欧州から米国への渡航を大幅に制限する方針が示されたことで、需要懸念から原油価格が大幅な続落となり、米国株式市場および欧州株式市場が急落したこと
 - ③ 上記の動きのなか、景気後退への警戒感が一段と高まり、国内株式市場全体が大幅な下落となったこと
- などが考えられます。

○基準価額の下落要因

基準価額の下落は、国内株式市場の下落に起因するものです。

○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。

以上

下記の事項は、この投資信託（以下「当ファンド」という。）をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みください。

記

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とし、TOPIXが上昇する場合に基準価額も連動して同程度上昇することを目指していますが、その反面、TOPIXが下落する場合には基準価額も連動して同程度下落することとなります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、東証株価指数（TOPIX）です。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

■当ファンドに係る手数料等について

◆申込手数料・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.65%（税抜1.50%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

◆換金（解約）手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.605%（税抜0.55%）の率を乗じて得た額とします。

◆実績報酬・・・株式の貸付けを行った場合、その収益のうち49.5%（税抜45.0%）を毎計算期間の最初の6ヵ月終了日及び毎計算期間未または信託終了のときに信託財産中から支払われます。

配分：委託会社41.8%（税抜38.0%）、受託会社7.7%（税抜7.0%）

◆信託財産留保額・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の基準価額に0.30%を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.0033%（税抜0.003%）の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用（*）

- ・有価証券売買時の売買委託手数料
- ・先物取引、オプション取引等に要する費用
- ・外国における資産の保管時に要する費用
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税
- ・受託者の立て替えた立替金の利息
- ・資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

（*）「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。